

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-BD-2016版、CASBEE-BD-NC、2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)日本梱包運輸倉庫株式会社	階数	地上2F
建設地	埼玉県大里郡寄居町大字西ノ入字	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	135 人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,750 時間/年(想定値)
建物用途	事務所工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年11月 予定	評価の実施日	2018年03月15日
敷地面積	40,003 m ²	作成者	川田工業(株)小泉知由
建築面積	16,383 m ²	確認日	2018年03月15日
延床面積	31,424 m ²	確認者	川田工業(株)小泉知由

2-1 建築物の環境効率(BEEラック&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S:★★★★★ A:★★★★★ B:★★★★ B:★★★★ C:★

標準計算

30%:☆☆☆☆☆ 60%:☆☆☆☆☆ 80%:☆☆☆☆ 100%:☆☆☆ 100%超:★

①参照値
②建築物の取組み
③上記+②以外の
④上記+

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を一般に建築物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安を示したものです。

2-3 大項目の評価(L-ダチャート)

Q2 サービエ性能

Q1 室内環境: 2.6
Q2 サービエ性能: 2.6
Q3 室外環境(敷地内): 2.8

Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境: 1.9
Q2 サービエ性能: 2.6
Q3 室外環境(敷地内): 2.8

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項

総合

大空間とすることで使いやすい計画とした。周辺環境への配慮を行った。また従業員用の駐輪場及び駐車場を確保し、

Q1 室内環境

執務業務上支障がない程度に環境を整えた。

Q2 サービエ性能

空間にゆとりを持ち、設備配管等更新のしやすさを考慮した。

Q3 室外環境(敷地内)

既存の緑地は手を付けず、そのまま残す計画とした。

LR1 エネルギー

高窓を設け、配置計画を考慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ライフサイクルCO2とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
(仮称)日本梱包運輸倉庫株式会社 刈刈野葉所寄居田坂所

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、()
 ■評価シート: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
						2.5
Q 建築物の環境品質						2.5
Q1 室内環境						1.9
1 音環境		2.6	0.15			2.6
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音		2.2	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能		1.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(質量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		1.6	0.35			1.6
2.1 室温制御		2.2	0.50			
1 室温		1.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	-	
3 光・照環境		1.3	0.25			1.3
3.1 屋光利用		1.8	0.30			
1 屋光率		1.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		3.0	-	3.0	-	
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレタ対策		1.0	0.30			
1 屋光制御		1.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		2.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		1.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		2.6	0.25			2.6
4.1 発生源対策		3.0	0.50			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気		2.3	0.30			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理		2.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50			
2 喫煙の制御		3.0	0.50			
Q2 サービス性能						2.6
1 機能性		2.0	0.40			2.0
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.40			
1 広さ・収納性		1.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33	3.0	-	
3 ハリアフリー計画		1.0	0.33			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30			
1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0	-	
2 リノベジションベース	食堂をリノベジションベースとして使用	5.0	0.33			
3 内装計画		1.0	0.33			
1.3 維持管理		2.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50			
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30			2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20			
2.4 信頼性		2.4	0.20			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3 電気設備		1.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		2.0	0.20			

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	階高7.2m	5.0	0.30	2.0	-	3.2
		2 空間の形状・自由さ	-	5.0	1.00	2.0	-	3.2
	3.2 荷重のゆとり	1	-	-	-	-	-	-
		2	2.0	0.30	2.0	-	-	-
		3	2.8	0.40	2.0	-	-	-
	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性	2.0	0.20	-	-	-	-
		2 給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	-	-
		3 電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	-	-
		4 通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	-	-
		5 設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	-	-
6 ハットアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	-	-	2.8	
G3 室外環境(敷地内)								
1 生物環境の保全と創出								
2 まちなみ・景観への配慮								
3 地域性・アメニティへの配慮								
3.1 地域性への配慮、快適性の向上								
3.2 敷地内温熱環境の向上								
LR 建築物の環境負荷低減性								
LR1 エネルギー								
1 建物外皮の熱負荷抑制								
2 自然エネルギー利用								
3 設備システムの高効率化								
4 効率的運用								
集合住宅以外の評価								
4.1 エネタリッジ								
4.2 運用管理体制								
集合住宅の評価								
4.1 エネタリッジ								
4.2 運用管理体制								
LR2 資源・エネルギー								
1 水資源保護								
1.1 節水								
1.2 雨水利用・雑排水等の利用								
1 雨水利用システム導入の有無								
2 雑排水等利用システム導入の有無								
2 非再生性資源の使用量削減								
2.1 材料使用量の削減								
2.2 既存建築躯体等の継続使用								
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用								
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用								
2.5 持続可能な森林から産出された木材								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み								
3 汚染物質含有材料の使用回避								
3.1 有害物質を含まない材料の使用								
3.2 フロン・ハロンの回避								
1 消火剤								
2 発泡剤(断熱材等)								
3 冷媒								
LR3 敷地外環境								
1 地球温暖化への配慮								
2 地域環境への配慮								
2.1 大気汚染防止								
2.2 温熱環境悪化の改善								
2.3 地域インフラへの負荷抑制								
1 雨水排水負荷低減								
2 汚水処理負荷抑制								
3 交通負荷抑制								
4 廃棄物処理負荷抑制								
十分な駐車スペースを確保								
3 周辺環境への配慮								
3.1 騒音・振動・悪臭の防止								
1 騒音								
2 振動								
3 悪臭								
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制								
1 風害の抑制								
2 砂塵の抑制								
3 日照阻害の抑制								
3.3 光害の抑制								
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策								
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策								

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトウェアバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称

(仮称)日本郵船運輸倉庫株式会社 小川営業所寄居出張所

BEE

0.8

BEEランク

★★

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア

$$4.3 + 2.0 = 6.3$$



重点項目の各スコアの合計点

がんぼろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 4.3

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア 4.3

車両駐車場を十分に確保した。

(2) 緑の保全・創出

スコア平均 2.0

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)	Q3 室外環境(敷地内)	LR3 敷地外環境
1. 生物環境の保全と創出	スコア 3.0	
3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア 2.0	
2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア 1.0	

敷地内の既存緑地部分は手を加えない計画とした。

: 入力欄